

## PM資料ガイド

項目	Project Finance プロジェクト・ファイナンス	Rev.	年月日	作成
		0	0303.31	霜田敏雄
対象	一般			
視点	基本解説			

### プロジェクト・ファイナンス (Project Finance)

#### 1. プロジェクト・ファイナンスとは

ファイナンス (Finance) は財源、財政、財政学を意味しており、プロジェクト・ファイナンスはプロジェクトにおける財源、財政、財政学となります。具体的には事業家、もしくは資金提供を意図する者 (銀行団、または複数の投資家) 達が、事業化を目指すプロジェクトを見つけ出し、事業家個人、またはシンジケート団を結成して、プロジェクト遂行に必要とされる資金をある条件の下に提供することを指しています。プロジェクトを創生し事業化することは、事業化で利益が得られることを期待している訳です。つまり、資金提供者や投資家は大きな利益の分配を期待して資金の提供を行うこととなります。

もちろん、プロジェクト遂行には様々なリスクが予想されます。事業家と資金提供者はプロジェクトを成功させる為に、プロジェクト遂行者と協力して、リスクを回避しながらプロジェクトの完遂に向けて努力するわけです。

#### 2. ファイナンスに伴うリスク

プロジェクト遂行には様々なリスクが存在しますが、そのリスクは出来るだけ事前に明確化して、回避しなければなりません。そのためには、まず各フェーズのリスクを想定しなければなりません。

原油の生産を例に取って説明しましょう。原油の生産プロジェクトでは、一般に以下のフェーズでリスクを想定します。

- 2 - 1) 油田の利権確認
- 2 - 2) 油田の埋蔵量や油層確認
- 2 - 3) 原油の質や油田からの汲み上げ難易度確認
- 2 - 4) 事業家または、事業主たる国家の信頼性
- 2 - 5) 生産設備の完成責任や設備の技術的信頼性
- 2 - 6) 設備の運転・保守に関する信頼性
- 2 - 7) ファイナンスの回収リスクや販売利益の確保

事業家は各フェーズについて、考えられるリスクを想定して事業化を決断し、投資家にファイナンスを求めることとなります。

#### 3. ファイナンスの形態

事業家がファイナンスを求める形態としては、いくつかのケースが考えられます。

- 3 - 1 ) 2 - 1 ) ~ 7 ) までの全体に渡り、リスクを考慮した形態で投資家にファイナンスを求める。
- 3 - 2 ) 2 - 5 ) の設計から建設を含めた限られた範囲のリスクを考慮したファイナンスを求める。(生産設備の完成責任のみでなく、製品引取り権、ファイナンスに対する事業家のリペイメントについてまでのリスクを考慮して、投資家にファイナンスを求める場合もあります)
- 3 - 3 ) すべてのリスクを事業家の管理と責任の下で行い、投資家に対してはリスクを考慮しなく、ファイナンスのみを求める。

ファイナンスが実際に行われる形態は、投資家同士の競争において実施される場合がほとんどであります。事業家にとってのファイナンスの優劣は、投資家の提示する条件、例えば、ファイナンスの期間、リペイメントの期間・利率、製品の引取り保証やその条件等です。

プロジェクト・ファイナンスは、単独で実施される場合もありますが、複数者により実施される場合もあります。上記2 - 1 ) ~ 2 - 7 ) の条件を満たすためにはリスクが大きいため、銀行団・エンジニアリング会社・商社等のファイナンスを行う側はジョイントベンチャー ( JV ) 形式やコンソーシャム形式で海外勢との協力関係を築き、強力でリスクが分散出来る組織を作り上げる方向を目指しています。